



Smile

ケアケア通信

【Vol.39】

発行人：スマイル☆ケアケア事務局

発行日：令和5年4月11日



トピック

子ども家庭庁発足「次元の異なる少子化対策の実現に向けて」

令和5年度のスタート。国の大きな変化としては「子ども家庭庁」が発足しました。子ども家庭庁が行う「こども施策」では、

- ・居場所づくり、いじめ対策など大人になるまで切れ目なく行われるこどもの健やかな成長のためのサポート
- ・働きながら子育てしやすい環境づくり、相談窓口の設置など子育てに伴う喜びを実感できる社会の実現のためのサポート
- ・これらと一体的に行われる教育、雇用、医療などの施策を掲げています。

すでに出産育児一時金は1児につき50万円と、3月31日までの支給額42万円から8万円上乗せされています（令和5年4月1日以降の出産の場合）。

その他、児童手当の支給要件の緩和や妊娠から育児に至る継続的な支援なども検討されています。

子ども家庭庁、そして、岸田内閣が推し進める「次元の異なる少子化対策の実現にむけて」社会はどう動きだすのでしょうか？

6月に発表される骨太方針では、将来的なこども予算倍増に向けた大枠を示すとしており、少子化に対する本気度の中身はこれから明らかになると言えそうです。



こども基本法やこども家庭庁について、かんたんにわかる動画もあります。

「こども基本法」の動画はこちら！



「こども家庭庁」の動画はこちら！



子ども家庭庁のHPより

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kodomo_seisaku_suishin/230323/kihon.pdf

仕事と治療の両立～寄り添い事例

レポート

ケアの場面では、寄り添い、という言葉を使うことが多くあります。今回は、そんな寄り添い事例を共有します。

Sさんは、職場の安全を推進する「5S」のエキスパートとして、安全で快適で効率的な職場環境を目指し、日々業務にあたっていました。ところが、昨年9月の定期健診ですい臓癌が判明し、当初は治療しながら仕事を続けていたものの、治療の効果なく翌1月に「今年の桜は見られないかもしれない」と診断を受けました。委託契約は3月いっぱい。仕事を続けるのか、契約期間途中で辞めるのか所属部の副部長と上長、Sさんの三者で話し合いました。Sさんは治療の経過と悪化状況を説明し、仕事は在宅ワークも取り入れながら責任を全うしたい、と伝えました。相談を受け副部長は、Sさんの体を心配し、加えて残された時間をご家族と一緒に過ごされることを優先して頂きたい、と契約の中途解除を提案しました。現場での頑張りを近くで見ていた上長はSさんに、人生の中でどのように仕事を締めくくりたいか尋ねると、Sさんからは「命ある限り、パソコンが使える限り、この仕事をやり通したい」「2月にイベントがあり、それまでは続けたい・・・」と返答がありました。誇りをもって仕事に当たられたSさんの本心に震えた上長は言います。その後、Sさんは契約した業務をすべて終わらせ、2月末で勇退。3月初旬に旅立ちました。

葬儀の後、ご家族から「最後まで働く、という故人の願いをお汲み取り頂き、ありがとうございました」と便りがありました。病氣＝無理をさせない、となりがちですが、本人に「寄り添う」というのはどういうことか、一つの事例になったと思います。



ヤングケアラー支援マニュアル

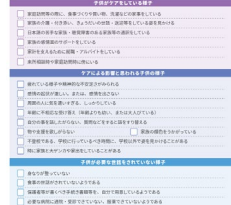
情報

令和3年度の厚生労働省 子ども・子育て支援推進調査研究事業にに応じてデロイトトーマツがまとめた「多機関・多職種連携によるヤングケアラー支援マニュアル～ケアを担う子供を地域で支えるために～」の発行以降、各自治体・団体でもヤングケアラー支援マニュアルの配布が相次いでいます。

東京都でも、去る3月27日に「東京都ヤングケアラー支援マニュアル」の頒布を開始しました（福祉保健局）。マニュアルの対象者は、ヤングケアラーへの支援を行う自治体担当者及び支援機関・支援者（普段、子どもたちと近くで接する児童福祉分野、学校関係者、生活福祉等）としています。

公益社団法人ACジャパンとNHKが共同で放映している「おせっかいでいい・・・」等、ヤングケアラー支援の浸透を図りつつある今、支援機関や支援者等でない、地域の理解や声掛けも支援の重要な資源の一つとして積極的に関わる必要があるという印象を得ました。

東京都 ヤングケアラー支援マニュアルの表紙(右)と、ヤングケアラーと掲載されていると思われる子どもに気づくポイントチェックリスト(左)



京都府が作成したマニュアル（京都府ヤングケアラー総合支援センター「ヤングケアラー連携支援マニュアル」 令和4年11月刊）でも、「スーパーやコンビニの店員、訪問介護員、ケアマネ等もヤングケアラーに「気づき」「つなぐ」「見守る」役割を分担していただけるよう、働きかけることが望めます。」とつづっています。このような取り組みがますます広がるといいですね！

【編集後記】

新年度スタート！皆さんは何か始められたことはありますか？ 持ち回り編集長MNIは、新しく、というより復活してゴルフとガチ茶道をスタートしました！ゴルフは20年ぶり、茶道はコロナでお稽古できず、高齢の師匠から師匠の師匠をご紹介頂き、入門しました！初稽古では大リーグ初挑戦初登板の藤波の気分を味わい、... 次回のお稽古に向けて気持ちを新たにしています。スマイル☆ケアケアは、皆様の挑戦を応援しています！

次号は、5月11日発行です。お見逃しなく～～！

【連絡先】スマイル☆ケアケア事務局 Email:smilecarecare@gmail.com

